

平成28年12月12日
鉄道局総務課
鉄道サービス政策室

平成27年度 鉄道係員に対する暴力行為の実態調査結果について

平成27年度における鉄道係員に対する暴力行為の発生件数は全国で873件（対前年度比14件の減少。6割以上の加害者が飲酒有り。）

鉄道係員に対する暴力行為は、鉄道の安全確保や利用者への良質な鉄道輸送サービスの提供に影響を与えるおそれがあります。また、近年、鉄道係員に対する暴力行為に関する意識が高まっています。

これらを踏まえ、国土交通省では、平成25年度^{*}より、全鉄軌道事業者を対象として、その実態を把握するための調査を実施しております。

調査の結果、平成27年度における鉄道係員に対する暴力行為の発生件数は全国で873件となり、平成26年度の887件から14件の減少となりました。

暴力行為の発生件数は高い水準にあることから、今年度も警察等関係者と連携し、暴力行為の撲滅に向けて、広報啓発活動等の取組みを進めて参ります。

^{*}調査対象は前年度の発生件数等

（別紙1）鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成27年度）

（別紙2）鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組み（平成27年度）

連絡先：国土交通省鉄道局総務課

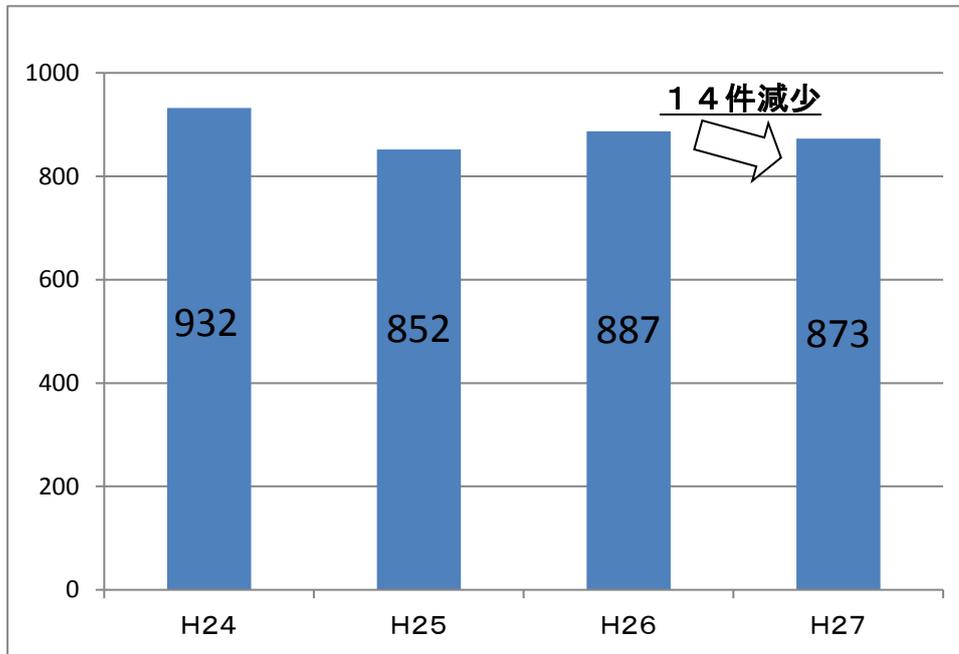
鉄道サービス政策室 尾崎、鈴木、山崎

代 表：03-5253-8111（内線：40624、40633）

直 通：03-5253-8542 FAX：03-5253-1633

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成27年度）

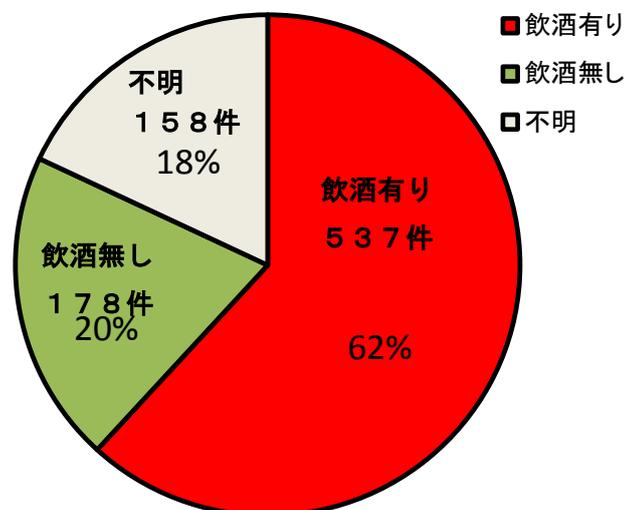
○平成27年度 全国鉄道軌道事業者 計 873件



○加害者の飲酒の有無

少なくとも6割以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（2割）に含む

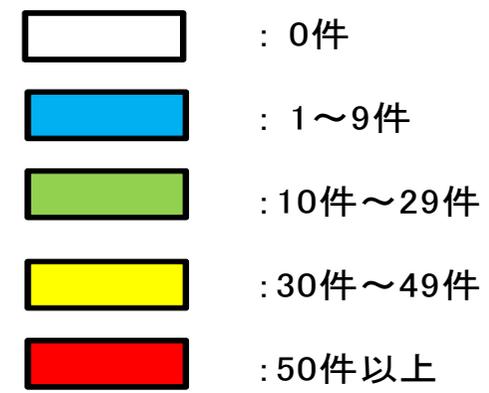
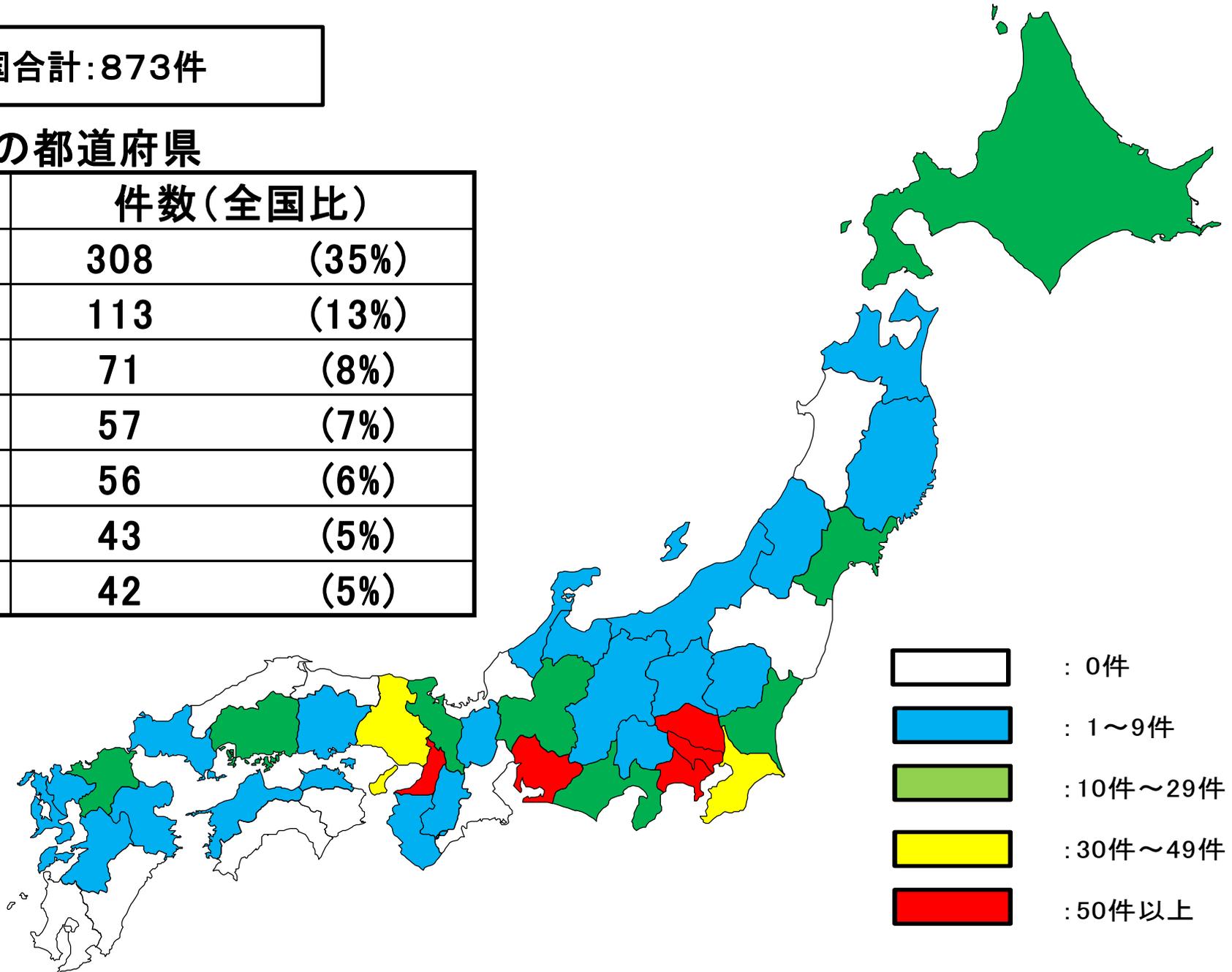


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・平成27年度)

全国合計:873件

○30件以上の都道府県

都道府県	件数(全国比)	
東京都	308	(35%)
神奈川県	113	(13%)
埼玉県	71	(8%)
大阪府	57	(7%)
愛知県	56	(6%)
千葉県	43	(5%)
兵庫県	42	(5%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別:平成27年度)

都道府県名	件数	
北海道	24	(12)
青森県	2	(1)
岩手県	1	(0)
宮城県	11	(6)
秋田県	0	(0)
山形県	2	(2)
福島県	0	(0)
茨城県	12	(7)
栃木県	6	(3)
群馬県	4	(4)
埼玉県	71	(54)
千葉県	43	(30)
東京都	308	(212)
神奈川県	113	(53)
新潟県	2	(0)
富山県	3	(1)
石川県	2	(1)
福井県	0	(0)
山梨県	3	(3)
長野県	3	(0)
岐阜県	13	(9)
静岡県	16	(12)
愛知県	56	(34)
三重県	0	(0)

都道府県名	件数	
滋賀県	2	(0)
京都府	23	(4)
大阪府	57	(24)
兵庫県	42	(24)
奈良県	1	(1)
和歌山県	4	(4)
鳥取県	0	(0)
島根県	0	(0)
岡山県	2	(1)
広島県	20	(10)
山口県	1	(1)
徳島県	0	(0)
香川県	2	(1)
愛媛県	2	(0)
高知県	0	(0)
福岡県	14	(8)
佐賀県	1	(0)
長崎県	1	(0)
熊本県	1	(1)
大分県	1	(1)
宮崎県	0	(0)
鹿児島県	0	(0)
沖縄県	0	(0)
全国合計	873	(526)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない4件を含むため、合計が合わない。

鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組みについて(平成27年度)

1. 暴力行為の主な事例

月日	5月	曜日	日曜日	時間帯	22時
場所	車内	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	あり
<p>特急電車で車掌として乗務し、車内巡視をしていたところ、酩酊状態の20歳代の男性がデッキで喫煙をしていた。喫煙をご遠慮いただくよう丁重にお声掛けをしていたところ、男性が「なんでいけないんだ」と激昂して、突然胸を数回殴打され、更に両手で強く胸を押され壁に背中をぶつけ負傷したため、駅に臨時停車して警察官に引き渡した。翌日、父親より謝罪の電話があり、後日、示談した。</p>					

月日	3月	曜日	木曜日	時間帯	14時
場所	駅事務室	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	あり
<p>自動券売機の異常警報が鳴動したので対応したところ、酩酊した男性より「切符が買えない、どうなっているんだ」と申告を受けたため、確認したところ、ICカード挿入部に乗車券が詰まっていることが判明した。その後、同男性が壁を激しく叩いたので事情を聞くため事務室に案内したところ、右手で右胸を殴打された。 右第8肋骨不全骨折・右胸挫傷(全治14日間) 加害者男性は東京簡易裁判所に起訴された。</p>					

月日	4月	曜日	金曜日	時間帯	12時
場所	ホーム	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	あり
<p>終着駅到着後の車内整理中、加害者が車内座席で寝ていたためお声掛けを行い、車掌と協力してホームに誘導したところ、いきなり顔面を殴打されるとともに右側頭部を蹴られた。(休業10日)</p>					

月日	12月	曜日	木曜日	時間帯	22時
場所	改札	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	なし
<p>振替輸送の混雑により自動改札機をフリーにして入場案内している中、男性が無札で入場したため声をかけたところ、突然定期入れを顔面に振り出し、鼻を2回殴打された。 鼻部挫傷(全治一週間)</p>					

月日	12月	曜日	水曜日	時間帯	22時
場所	ホーム	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	あり
<p>駅務係(女性)は、駆け込み乗車を試みて、乗車できなかった加害者男性に、いきなり背中を蹴られ負傷した。(背部打撲傷 全治5日)</p>					

月日	1月	曜日	土曜日	時間帯	13時
場所	改札口	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	なし
<p>ホームまでの行き方を尋ねられ、丁寧に説明したが、理解が得られず、突然激昂し所持していた金属製の杖で自動改札機を叩き、さらに窓口のガラスを叩き割った。さらに、駆けつけた助役に対して杖で後頭部を1回殴打する暴行を加えた。</p>					

2. 暴力行為の抑止に関する主な取組み

- ① 警察官と連携した巡回・ガードマンによる巡回の実施
- ② 所轄の警察署に依頼し、教習等で護身術訓練に参加
- ③ ターミナル駅における「粗暴事犯防止(撲滅)キャンペーン」に参加
- ④ 暴力行為防止ポスターの掲出等の啓発活動
- ⑤ 防犯カメラ作動中のステッカーの貼付
- ⑥ 刺す又、カラーボール、防犯ブザー等の防犯グッズの配備
- ⑦ 負荷により外れるネクタイの着用